

## <多治見空手道教室だより>

R2. 11. 28

拳和会多治見教室は、桑子派糸東流の拳和会多治見支部に加盟していますが、始まりは青島がNIT（電電公社）の静岡から名古屋に転勤し、1975年に空手部（拳和会NIT支部）に入会し、1982年に拳和会多治見支部を設立したことで、今の指導者では田代先生が当初からの会員で、会員番号はA22ですが、今年が一番新しい会員はA710です。

教室の成り立ちを説明したので、以下に空手道の歴史と、青島が拳和会の空手を生徒と一緒に、永く続けている理由の拳和会の「宣誓」と「道訓」についても、分かり易くお伝えします。

### 「空手道の歴史」

#### 1. 空手道の起源

空手は沖縄を発祥の地として、身にいっさいの武器を持たずに、突き、蹴り、打ちなど全身のあらゆる部位を使って外敵から身を守ることを目的として誕生した武術です。

空手の起源の一説に、6世紀頃に有名な達磨大師がインドから中国に渡り、河南省洛陽の郊外の少林寺で厳しい座禅の修行に入り、強靱な心と体を鍛練するために拳法を始め、少林寺拳法として各地に普及したと言われています。

#### 2. 沖縄での発展過程

14世紀頃から明国と琉球の間の交流が盛んで、明国の武官「公相君」が中国拳法を伝え、琉球古来の拳法「ティー」に影響を与えて発展したと伝えられています。

15世紀以降、琉球は一切の武器の所持を禁止されたため、自己を守るためには、徒手空拳を鍛練して身を守るしかなく、武術としての「唐のティー＝唐手＝カラテ＝空手」は、ますます秘密の武術として発展しました。

#### 3. 日本本土への上陸

1916年頃船越義珍が京都の武徳殿で空手の演武を行ったのが本土で紹介された最初で、その後加納治五郎の要請で講道館の門下生に空手の指導を行いました。

#### 4. 空手の流派

昭和に入ってから船越義珍が「松濤館流」、宮城長順が「剛柔流」、摩文仁賢和が「糸東流（拳和会は糸東流）」大塚博紀が「和道流」を創設し、現在も四大流派として全日本空手道連盟の基になっています。

#### 5. これからの空手道

昭和56年から国体種目となって発展してきた空手道は、今や国際的な普及もめざましく、2000年の6月にIOCが世界空手連盟（WKF）を公認し、2012年のロンドンオリンピックの種目候補では、最後の2種目まで残りましたが、残念ながら見送られてしまいました。

しかし、世界の空手人口は今では6,000万人に達しており、来年の東京オリンピックの種目には決まっています。空手道は一定のルールのもとに勝敗を決める近代スポーツではありますが、武道として厳しい修行の中でお互いの人格を尊重し、礼節を重んじることを教え、人間形成のための教養の手段としても普及発展しています。

## 「日本空手道拳和会のきまり」

### 「宣誓」

拳和会空手道修行者は、空手道の心髄に則り、決して無法な錬磨をせず、相互の親睦を図り、

心身共に益々修練し、社会に寄与する人格の陶冶に、精励することを誓う。

（わかりやすい言葉）

1. 空手を習う人は空手の教えやきまりを守って、乱暴者になるような練習はしません。
2. 友達とは仲良くします。
3. 心や体を、もっともっと鍛えます。
4. 社会のために尽くせる、立派な人になるために、一生懸命に頑張ることを誓います。

### 「道訓」

空手道修行者は、礼節を重んじ、心、体、技の三位一体化の境地を追求し、温和、謙譲、克己の心を忘れることなく、常に己を虚しく自省し、術より人の道を探求すべし、道場は神聖にして心の霊場なり、粗暴な喧嘩口論、他流試合等せし者は破門す。

（わかりやすい言葉）

1. 拳和会で空手を習う人は、礼儀正しく、規則を守って、心と体と技を同じように鍛えましょう。
2. 空手が強くなっても、威張ったり得意ぶったりしないで、人には親切に優しくしましょう。
3. いつも自分の行いを反省して、空手が上手になる以上に、正しい人になるように努力しましょう。
4. 道場は尊い所ですから、暴れたり喧嘩や悪いことをする人はやめてもらいます。